



県中学生郷土新聞コンクールに向け、記事の書き方やレイアウトのこつを紹介する講座が25日、越前市文化センターで開かれた。市内の中学生33

取材、編集こつ納得 中学生郷土新聞講座に33人 越前市



中学生が取材のポイントなどを学んだ郷土新聞づくり講座。25日、越前市文化センター

.....
人が、座学や実習を通じて新聞制作のポイントを学んだ。

越前市、南越前町、池田町の中学教員でつくる県中教研南越ブロック社会科研究部会が企画。福井新聞社の徳島泰彦NIE

Eコーディネーターが講師を務めた。南越地区での講座開催は初めて。

取材のポイントについて、徳島コーディネーターは▽事前に基本的なことを調べる▽疑問に思う点を取材する▽メモは手

早く確実に」と説明。

レイアウト関連では「見出しは記事の案内標識」などと紹介し、福井新聞に掲載された記事素材を見出しをつける実習も行った。コンクールの過去の入賞作品を展示し、それぞれの優れた点を指摘した。後半は近くにある市中央図書館で、テーマを決めるための資料探しを行った。

三村啓恵さん(武生一中1年)は「人物の写真や自分の思いを紙面に入れた方がいいというアドバイスが印象に残った。これから取り組む自分の郷土新聞に役立てたい」と話していた。(大谷純平)